

日本労働年鑑 第55集 1985年版
The Labour Year Book of Japan 1985

第二部 労働運動

II 労働組合の大会

3 中立労連、新産別、総連合、全民労協、金属労協、統一労組懇の大会

6 統一労組懇総会

統一労組懇年次総会

統一戦線促進労働組合懇談会(統一労組懇)は、八三年七月三一日から二日間、東京・千代田区公会堂で八三年度年次総会をひらき、新年次方針を決定した。あいさつに立った引間代表委員は、「右翼転落した総評は、黒川議長、真柄事務局長の新体制になっても展望はひらけない」と批判し、「階級的ナショナルセンター確立にむけた左派結集」を呼びかけた。そして、「右翼再編成反対、全国労働者、労働組合連絡会」(仮称)の設立を提案した。これは、全民労協不参加と批判の態度を方針とする単産、各産業別のあり方懇、金属機械全国労組連絡会、その他の連絡協など右翼再編に反対する数百万の勢力を結集するものと付け加えた。引間代表委員のこの発言は、年次方針のなかに明記されているものではないが、統一労組懇の今後の基調をふくむものといえる。

総会では、「平和擁護闘争と労働組合(案)」をつぎの代表者会議までに討論することとし、年次方針などすべての議案を採択し、閉会した。なお、総会では、常任代表委員を三人増加し一人とし、代表委員も三人増の二五人とすることを決定した。

統一労組懇臨時総会

静岡県熱海市で、八四年二月一〇、一一日、臨時総会を開催し、八四春闘方針案、健保・共済制度「改悪」反対闘争強化の特別議案を決定した。春闘方針案では、三万円以上の大幅賃上げ、合理化反対、健康保険改悪・雇用保険改悪反対などの政策制度要求、核巡航ミサイル・トマホーク配備反対などの平和と民主主義を守る課題などが柱となっている。健保・共済制度「改悪」反対闘争では、三月以降の国会審議に見合う適当な時期に、はじめて統一ストライキを構える方針を打ち出した。

日本労働年鑑 第55集 1985年版

発行 1984年12月15日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年8月21日公開開始